

トルコの農林水産業概況

1. 農林水産業の概要

(1) 農林水産業の概況

- 人口は、8,478万人（2021年）。
- 三方を海に囲まれている一方で、内陸部に標高3,000mを超える山々があるため、地域による気候差が大きく、多種多様な農業形態を有している。地域ごとの特徴は、下記のとおり。
地中海・エーゲ海地域：地中海性気候。さくらんぼやいちじく等の果物、野菜の生産が盛ん。
黒海地域：海洋性気候。ヘーゼルナッツ、茶の生産が盛ん。
中央アナトリア地方：ステップ気候。穀物類の生産が盛ん。
南東部：ステップ気候。綿花やピスタチオの生産が盛ん。
- 主要農産物は、てん菜、小麦、トマト、大麦、とうもろこし、ばれいしょ、ヘーゼルナッツ等。特にヘーゼルナッツは生産量で世界の64%、輸出量では63%を占める（2021年）。
- クロマグロの畜養が盛んで、約4,976トンが日本に輸出されている（2022年）。主要魚種は、漁業ではイワシ、ニシン、ハガツオ、ザルガイ、コダラ、巻き貝等、養殖ではマス、タイ、スズキ等。



(2) 農林水産業の地位（2021年）

（単位：億USドル、%）

	トルコ		日本	
	名目額	比率	名目額	比率
国内総生産(GDP)	8,190	100.0	49,409	100.0
うち農林水産業	454	5.5	514	1.0
1人当たりGDP(USドル)	9,661		39,650	

資料：国連統計

(3) 農地の状況（2021年）

（単位：万ha、%）

	トルコ		日本	
	面積	比率	面積	比率
国土面積	7,854	100.0	3,780	100.0
農用地	3,809	48.5	466	12.3
耕地(除く永年作物)	1,988	25.3	409	10.8
永年作物地	359	4.6	26	0.7
永年採草・放牧地	1,462	18.6	31	0.8

資料：FAO統計

(4) 主要農産物の生産状況 (単位：万トン)

	トルコ					日本
	2017	2018	2019	2020	2021	2021
てん菜	2,115	1,744	1,809	2,303	1,825	406
小麦	2,150	2,000	1,900	2,050	1,765	110
トマト	1,275	1,215	1,284	1,320	1,310	71
大麦	710	700	760	830	575	23
とうもろこし	590	570	600	650	675	0.02
ヘーゼルナッツ	68	52	78	67	68	-
生乳(牛)	1,876	2,004	2,078	2,175	2,137	759
鶏肉	214	216	214	214	225	244

資料：FAO 統計

2. 農林水産物貿易の概況

(1) 農産物貿易

○ 農産物輸出入上位5品目 (2021年)

<輸出> (単位：百万USドル、%)

品目名	輸出額	シェア
ヘーゼルナッツ	1,293	5.4
小麦及びメスリン粉	1,154	4.9
ひまわり油	920	3.9
ナッツ調整品	901	3.8
鶏肉	826	3.5
総額	23,775	100.0

<輸入> (単位：百万USドル、%)

品目名	輸入額	シェア
小麦	2,693	13.3
実綿及び繰綿	2,413	11.9
大豆	1,464	7.2
ひまわり油	1,204	5.9
パーム油	798	3.9
総額	20,272	100.0

資料：FAO 統計 注：林、水産物は除く

(2) 我が国との貿易 (2022年)

日本からトルコへの主な輸出品は、鉄鋼のフラットロール製品、自動車の部品、自動車等。トルコから日本への主な輸入品は、魚介類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、合金鉄等。

農林水産物貿易の概況は、以下のとおり。

○ 農林水産物貿易概況 (単位：百万USドル)

	輸出 (日本→トルコ)	輸入 (トルコ→日本)	我が国の 収 支
総額 (A)	3,217	1,025	2,191
農林水産物 (B)	2	465	△ 462
農林水産物のシェア (B/A) (%)	0.1	45.3	-

資料：財務省貿易統計

○ 農林水産物貿易上位5品目

<輸出> 日本→トルコ

(単位：百万USドル、%)

品目名	輸出額	シェア
アルコール飲料	0.6	26.0
配合調製飼料	0.5	18.9
醤油	0.2	7.5
ペプトン等	0.2	6.1
ラノリン	0.1	5.2
総 額	2.4	100.0

<輸入> トルコ→日本

(単位：百万USドル、%)

品目名	輸入額	シェア
かつお・まぐろ類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	111	23.8
さけ・ます(生鮮・ 冷蔵・冷凍)	64	13.7
スパゲッティ	60	12.8
生鮮・乾燥果実	50	10.8
たばこ	46	10.0
総 額	46,456	100.0

資料：財務省貿易統計

※ペプトン：タンパク質の分解産物。微生物の培地原料や食品添加物（香料）として使用される。

※ラノリン：羊毛製品の副産物として生産される油脂で、化粧品等に使用される。